

現地実習の様子(基礎研修 20年6月)

## 森林施業プランナー育成について

平成19年度から、国産材の利用拡大による林業・木材産業の再生を目指し、施業の集約化などを通じた国産材の安定供給体制を整備する取組が進められています。森林施業の集約化を推進する有効な手段のひとつが「提案型集約化施業」(以下「提案型施業」という。)。提案型施業とは森林組合などの林業事業体が森林所有者に対して、森林施業の方針、間伐に必要な経費、木材を販売した際の販売予定価格などを記した施業提案書(森林施業プラン)を示し、森林所有者の施業意欲を引き出すとともに、個々の所有者の森林をとりまとめて一体的な施業を行うことで、コストの低減や効率的な森林施業を行うものです。従来のように、森林所有者から施業を依頼されるのを待つのではなく、林業事業体から積極的に働きかけることで、森林施業の促進が期待されます。

森林施業プランナーとは、施業提案書を作成し、森林所有者に提示して合意形成できる技術者のことを指します。この技術者の育成は平成 19 年度よりスタートし、第 1 段階として、「基礎研修」「地域実践研修 1 回目及び 2 回目」を受講します。第 2 段階として、プランナーの更なるスキルアップ等のため、平成 20 年度より拡充した「ステップアップ研修」を受講します。第 3 段階として、提案型施業の実績がある林業事業体の更なる質の向上を目指し、平成 21 年度から「実践体制基礎評価」に取り組みます。

今回は、平成20年度の森林施業プランナー育成研修の内容等をご紹介します。

#### 基礎研修の様子



日吉町森林組合の取組についての講義



作業システムについての講義

## 集約した団地での作業路網の考え 研修生からは「分かりやすい」との 材の「DVD」が研修で活用され、 とを整理した「テキスト」や補助教 ンナーが最低限理解しておくべきこ また、今年度より、森林施業プラ 修について

んだことを活かして、自らの取組状

日吉町森林組合で基礎を学ぶ 先進的な取組を行っている

基礎研修

作成や課題に取り組む実践研修 実際のフィールドで施業提案書の 地域実践研修

平成二〇年度は参加希望者が多かっ

たため研修回数を五回

(前年度は四

に分け、約一八○名が参加して

基本的な考え方を学んでいきます。 で見学し、施業提案や施業提案書の

一回当たりの研修日程は三泊四日で、

方や作業システムなどを実際に現場

りました。 声も多く、

昨年度より理解度が深ま

実施されました。

ロック一二箇所に分け、

基礎研修の終了後、

全国を七ブ 一回目は一

二回目の研修では、これまでに学

講師を務め、 行っているフィールドを使いながら こでは、提案型施業の先導役となっ 泊三日、二回目は一泊二日と計二回 ているモデル組合が、実際に作業を 行われるのが地域実践研修です。こ 研修を実施していきま

成を目指します。 地域の実情に即した施業提案書の作 をグループ討論を通じて自ら考え、 実践するための課題や解決方法など 回目の研修では、提案型施業を

には、 三〇〇もの林業事業体が受講するな 講証が交付されます。これまでに約 着実な実施を目指していきます。 況や施業提案書の作成に係る課題を へと広がりつつあります。 て課題の解決に努め、 バイスやグループ討論・発表を通じ 再検討するとともに、 一回にわたる地域実践研修参加者 研修のまとめとして、基礎研修と 提案型施業の取組は確実に全国 森林施業プランナー研修受 講師からアド 施業提案書の

### 地域実践研修の様子



モデル組合の施業箇所の見学・実習



自ら作成した施業プランの説明

#### ステップアップ研修の様子

中全はすべて

# 2 ステップアップ研 評価について

# ステップアップ研修

プランナーのスキルアップと

推進体制

(チーム) の確立

現場責任者及び経営管理者」によ において、 テップアップ研修が、平成二○年度 る組織一体となった取組を目指すス せない、「プランナー、 スキルアップと、提案型施業に欠か 修を受講した林業事業体などを対象 より始まりました。日吉町森林組合 第一段階の基礎研修と地域実践研 森林施業プランナーのさらなる 九月から一〇月にかけて 経理担当者、

> がありました。 三泊四日の日程で実施され、 は、三八森林組合から九三名の受講 今年度

各担当が認識を共有し、取り組むこ うべき方向を明らかにして、それを 研修の中には、 を置いたプログラムになっており、 者自身が演習やワークショップを通 とができるよう工夫されています。 成実習などもあり、組織として向か 実行に向けたアクションプランの作 じて自ら体験し、考えることに重点 本研修は、講義や視察の後、 研修時間以外でも、 提案型集約化施業の 研修生 参加

> があれば研修終了後、全国提案型定 の個別相談に応じるとともに、希望 いう。)講師によるフォローアップ 着化促進部会(以下「全国部会」と を受けることもできます。

## 実践体制基礎評価

## 外部機関からの評価で さらなる質の向上を図る

的かつ客観的な立場から評価するも ているかどうかを、 の林業事業体の組織内で具体化され 施業の基本的なことが森林組合など 「実践体制基礎評価」とは、 外部機関が専門 提案型

のです。

とができます。 体的に把握、改善することを通じ、 取組内容の質の向上に結びつけるこ ことにより、自らが抱える課題を具 林業事業体は、 外部評価を受ける

することができます。 を林業事業体に委託する際の情報と により、森林所有者が利用間伐など また、評価結果が公表されること

化促進部会のメンバーなどで構成さ 行い評価します。 取組を対象に、全国提案型施業定着 れたチームが書類審査・現場審査を 実施」「完了報告」といった一連の まとめ る林業事業体の提案型施業の「とり 了、または同等のレベルに達してい 評価は、ステップアップ研修を終 (提案/集約化)」「間伐等の

林業事業体は、 ることができます。 タールの助成など) に必要な経費として二五万円/ヘク 事業(提案型施業のノウハウの蓄積 始予定の提案型集約化施業経営支援 実践体制基礎評価の認定を受けた 平成二一年度から開 の助成対象とな

# 現場の進行管理について説明

夕食後の個別相談会



プランナーへの個別指導

#### 事例発表会の様子

## 様々な取組事例を発表 普及・推進に向けた

第2回全

日に国立オリンピック記念青少年総 資するための事例発表会が二月二五 合センター(東京都)で開催されま 提案型施業の更なる普及・定着に

回目) 林組合の取組事例が発表されました。 を支援する都道府県及び都道府県森 する特徴的な取組事例、 業事業体の中から各ブロックを代表 部では今年度の地域実践研修(二 発表会は三部構成で進行され、 に参加した森林組合などの林 岡崎森林組合 (愛知県) 林業事業体 ょ

> より、 ことの発表、菊池森林組合(熊本県) 化・提案がスムーズに行われている の際の信用度が向上するなど、集約 情報が充実、 センター」の設立により、①所有者 化のため町役場と連携した「活性化 域森林組合 る気」をアピールする発表、 り、「組合員のためになるなら私が よる取組事例の発表がありました。 頑張ります」と上司に直談判した「や 地元林研グループとの協同に 森林組合の取組を支援する (愛媛県)からは、 ②所有者への働きかけ 久万広

されました。森林組合と参加者との 例がポスターセッション形式で紹介 た各ブロック一二森林組合の取組事 第二部では今年度、 研修に参加し

当者と連携した専属チームで団地設

定や施業プランの単価設定などに対

群馬県森林組合連合会より、

、県の担

提案型施業を支援する取組事例の発 援する岐阜県からは、 する助言などを行う取組について発 表がありました。 表、さらに、林業事業体の取組を支 県単独事業で

フォレスト・ミッション

代表取締

全国部会講師)による「提案型

今後の進展が期待されます。

第三部では坪野克彦氏(株式会社

意見・情報の交換も活発に行なわ

ħ

ネルディスカッションが行われまし FJリサーチ&コンサルティング株 向けた課題や解決策などについてパ 交えて、提案型施業の普及・推進に 発表に続き、 研究員、全国部会講師)を 相川高信氏(三菱U

> 域の先導役としての取組やこれまで 咋森林組合(モデル組合)より、 修に参加した三次地方森林組合、

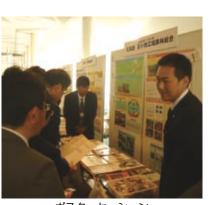
地 羽 に続き、今年度、ステップアップ研 集約化施業 実践への道筋」の講演

の施業実績などについて発表が行わ

に向け、おおいに参考になるものと なりました。 今回の発表は関係者の今後の活動 れました。



事例発表



ポスターセッション



モデル組合の事例発表